

寝屋川市地域公共交通協議会（第3回）

議 事 録

日時 令和6年11月7日（木）
午前10時00分から午前11時00分まで

場所 寝屋川市役所議会棟5階 第2委員会室

○ 出席者

① 地域公共交通協議会委員 23 名中 19 名出席

② 事務局 交通政策課 岡本次長、濱口係長、世良

③ 関係課 企画一課 妹尾次長

産業振興室 川原課長

高齢介護室 静室長

道路管理課 新谷次長

④ 傍聴者 0 名

○ 議事内容

案件(1) コミュニティバス使用料の改正について

案件(2) 公共交通に関するアンケート調査結果（速報値）について

案件(3) その他

寝屋川市地域公共交通協議会（第3回） 会議録

事務局 定刻になりましたので、ただいまより「寝屋川市地域公共交通協議会（第3回）」を開催させていただきます。本日は、大変お忙しいところ、御出席いただき誠にありがとうございます。本日、司会を務めさせていただきます交通政策課の濱口でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の案件といたしましては、「コミュニティバス使用料の改正について」、「公共交通に関するアンケート調査結果（速報値）について」、「その他」となっておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、資料の確認をさせていただきます。資料といたしましては、

- ・ 本日の次第
- ・ 資料1 「寝屋川市地域公共交通協議会委員名簿（令和6年10月22日現在）」
- ・ 資料2 「コミュニティバス使用料の改正について」
- ・ 資料3 「寝屋川市の公共交通に関するアンケート調査結果（速報値）」

以上、4種類となっております。お揃いでしょうか。

なお、事前に配布した資料から、一部、誤字等による修正をしておりますので、本日、配布した資料をご覧ください。

次に、案件に入る前に報告事項がございます。本協議会の委員に変更があり、新たに1名の委員が就任されましたので、報告させていただきます。大阪府寝屋川警察署の佐野委員から、岡部委員へ変更となりました。次に、本日の出席委員につきましては、委員23名のうち、19名の出席でありますので、寝屋川市地域公共交通協議会規約第12条第2項の規定により、本協議会は成立しておりますので、ご報告いたします。

なお、摂南大学の野村委員、京阪電気鉄道株式会社の定藤委員、京阪バス労働組合の畑中委員につきましては、欠席のご報告がございました。また、京阪バス株式会社の檀委員につきましては、岩佐さまに代理出席していただいております。それでは、案件に移らせていただきます。熊谷会長、議事進行、よろしくお願いいたします。

会 長 それでは、案件に移らせていただきます。案件(1)、「コミュニティバス使用料の改正について」事務局より説明をお願いします。

事務局 交通政策課の世良でございます。よろしくお願いいたします。それでは、案件(1)「コミュニティバス使用料の改正について」ご説明させていただきます。資料2「コミュニティバス使用料の改正について」をご覧ください。

始めに、コミュニティバス、通称ねやBUSの使用料の改正につきましては、京阪バスが令和6年12月1日から運賃を改定し、230円から250円に改定することから、本市におきましても燃料費を含む全般的な物価高騰及び公平性の観点より整合性を図るため、ねやBUSの使用料の改正を予定しております。改正内容につきましては、大人230円から250円に、小児・幼児120円から130円に、それぞれ改正を予定しております。また、これまでは身体障害者手帳及び療育手帳の交付を受けている方を減免の対象としておりましたが、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方につきましても、減免の対象といたします。施行日につきましては、令和7年4月1日を予定しております。ねやBUSの使用料改正の根拠につきましては、道路運送法施行規則第51条の規定により、「旅客の運送に要する燃料費その他の費用を勘案して実費の範囲内であると認められること。」、「合理的方法により定められ、かつ、旅客にとって明確であること。」、「当該地域における一般旅客自動車運送事業に係る運賃及び料金を勘案して、当該自家用有償旅客運送が営利を目的としているとは認められない妥当な範囲内であり、かつ、地域公共交通会議等において協議が調っていること」と規定されております。この実費の範囲内の根拠といたしまして、ねやBUSの4月から9月までの実績をもとに、歳入として運賃収入、歳出として燃料費及び運行業務委託料となります。これらを前提に4月から9月までの利用者数から算出いたしますと、現在の230円の場合、利用者一人当たりの費用として900円、250円に改正した場合、利用者一人当たりの費用として870円が利用者の負担となり、京阪バスの運賃250円と大きくかけ離れていることから、妥当な額とは言えませんが、令和6年4月26日付け、物流・自動車局長からの通知において、「当該地域又は隣接市町村等における一般乗合旅客自動車運送事業の運賃を目安」として取り扱えることから、一般乗合旅客自動車運送事業者である京阪バスの運賃と同額とし、公平性の観点から250円が妥当であると考えております。最後に、使用料改正につきましては、

「本協議会において協議が調っていること」となっておりますので、皆さまからの意見などをいただいた後、議決をとらせていただきますので、よろしくお願いいたします。以上で、説明を終わらせていただきます。

会 長 ただいま、案件(1)の説明が終わりました。これより、内容について、御意見・御質問をいただければと思います。

近畿運輸局さんから補足いただくことがあればお願いします。

委 員 事務局さんがおっしゃっていた、令和6年4月26日付けの、物流・自動車局長からの通知にもございますように、当該地域で走っているバスの運賃を目安に皆様でご検討いただければという形になっておりますので、特段ご意見はございません。以上でございます。

副会長 確認だけですが、これは条例ですね。議会の議決が必要なのですか？

事務局 そのとおりでございます。なお、運賃の条例改正を12月議会で上程してまいりたいと考えております。

会 長 議決が必要ということですね。

委 員 使用料の減額のところに、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者を追加とありますが、手帳は1、2、3級とあると思いますが、何級までが対象なのかお答えをお願いします。

事務局 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方は、何級を持っているかに限らず、皆様がサービスの対象となります。

委 員 バス利用券は、4月1日からどのようなのでしょうか？今だったら230円のところを、100円とバス利用券で乗る形ですが、4月1日からの見通しが持てたらと思い、質問します。

事務局 今現在、230円区間の場合は、現金100円をバス利用券と一緒に投入していただいております。

ます。京阪バスの運賃が12月1日から250円に改定されますので、京阪バスを12月1日以降にご利用になって、さらにバス利用券を利用する場合は、すでにバス利用券を対象者に配付して、額面130円が載っております。運賃額との差額で運用しておりますので、250円から130円を差し引いた120円の現金を入れていただきます。ただし、ねやBUSにつきましては、運賃改定が来年の4月1日を予定しておりますので、3月いっぱいまでは今まで通り230円という運賃で100円だけを投入いただきたいと思います。

委員 今京阪バスは、身体障害者の場合、手帳を呈示したら割引の料金だけ払えば良いとなっておりますが、精神障害者の場合は、いくら支払うことになるのでしょうか？

事務局 精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方には、12月1日以降でしたら、京阪バスをご利用される場合、利用運賃の半額の、130円でご利用いただけます。ねやBUSは、運賃改定の予定が、4月1日を予定しており、4月1日以降サービスが実施できますので、手帳の呈示をお願いします。

会長 京阪バスさんとねやBUSの値上げのタイミングが少しずれていますので、注意が必要ですね。ご指摘ありがとうございました。

他にございませんか。ないようでございますので、質疑を打ち切ります。

それでは、先程から説明がありましたとおり、本協議会の承認が必要となりますので、議決をとらせていただきます。「コミュニティバス使用料の改正」について、御異議ございませんでしょうか。

委員 異議なし。

会長 ありがとうございます。賛成多数で御異議がないようですので、「コミュニティバス使用料の改正」について、原案通りとさせていただきます。

続きまして、案件(2)、「公共交通に関するアンケート調査結果（速報値）について」、事務局より説明をお願いします。

事務局 それでは、案件(2)「公共交通に関するアンケート調査結果（速報値）について」ご説明させていただきます。資料3「公共交通に関するアンケート調査結果（速報値）について」をご覧ください。始めに、本アンケート調査につきましては、自由記述がまとめきれれておりませんので、現段階での速報値として、報告させていただきます。また、32 Pから 37 Pにアンケート調査票を記載しておりますので、対比していただければと思っております。

1 Pをご覧ください。アンケート調査の概要といたしまして、令和6年8月30日から9月17日の間、調査を実施しました。調査方法といたしましては、市民アンケート及び公共施設での設置型アンケートを実施いたしました。市民アンケートにつきましては、配布数 3,000 通に対し、郵送による回収 903 通、webによる回収 256 通、合計 1,159 票を回収いたしました。回収率は 38.6%でございます。なお、アンケートにつきましては、ひと家族、最大4人までの回答が可能となっていたことから、1,531 票として集計を行っております。公共施設での設置型アンケートにつきましては、19 施設にアンケートを設置し、165 票を回収いたしました。回収率は 17.4%でございます。市民アンケート及び公共施設での設置型アンケートを集計いたしますと、1,696 票を回収いたしました。

3 Pをご覧ください。このページより、調査の結果を記載しております。質問①のお住いについての結果でございまして、中学校区別で見ますと、第六校区が 197 件と最も高く、次いで、第三校区が 185 件でございました。

4 Pをご覧ください。質問②の属性についての結果でございまして、性別・年齢・職業は記載のとおりでございます。なお、年齢につきましては、全体の回答で 50 代以上が約 7 割を占めております。

5 Pをご覧ください。質問③の運転免許証と自家用車についての結果でございまして、「自動車運転免許証を持っている方」は、全体の回答で 61.4%、「運転免許証を返納し現在持っていない方」は 11.1%でございました。中学校区別で見ますと、「自動車運転免許証を持っている方」が最も高いのは第七校区で 67.2%、次いで、友呂岐校区が 66.4%でございました。

6 Pをご覧ください。運転免許証の自主返納の考えについての結果でございまして、「運転免許証を自主返納しようと考えている方」は、全体の回答で 69.3%、「運転免許証を自主返納する考えがない方」は、全体の回答で 26.6%でございました。中学校区別で見ますと、「運転免許証を自主返納しようと考えている方」が最も高いのは第五校区で 77.2%、次いで、第七校区が 76.4%でございました。反対に、最も低いのは第八校区で 56.1%でございました。

7 Pをご覧ください。自家用車の保有についての結果でございまして、「自宅に自動車を保有している方」は、全体の回答で58.9%でございました。中学校区別で見ますと、「自宅に自動車を保有している方」が最も高いのは第八校区で67.2%、次いで、第六校区が65.5%でございました。反対に、最も低いのは第十校区で52.0%でございました。

8 Pをご覧ください。質問④の普段の生活での外出についての結果でございまして、「出かける主な目的」は、全体の回答で「買い物」が39.9%と最も高く、次いで「通勤」の34.7%でございました。中学校区別で見ますと、「買い物」が最も高いのは第九校区で44.3%、次いで、第三校区が43.2%でございました。

9 Pをご覧ください。主な外出先についての結果でございまして、全体の回答で「市内」が61.4%、「市外」が36.3%と「市内」に出かける方が高い結果となりました。中学校区別で見ますと、「市内」が最も高いのは第六校区で69.2%、次いで、第一校区が67.8%でございました。なお、第七校区の「市内」は、他校区と比較し、極端に低い結果となりました。

10 Pをご覧ください。出かける市外の場所についての結果でございまして、全体の回答で「大阪市」が32.2%と最も高く、次いで「枚方市」の14.1%でございました。中学校区別で見ますと、「大阪市」が最も高いのは第三校区で44.0%、「枚方市」が最も高いのは第十校区で25.9%、「守口市」が最も高いのは第九校区で35.7%でございました。

11 Pをご覧ください。主な施設名称についての結果でございまして、通院の具体的な施設は、市内では「関西医科大学香里病院」、「小松病院」が多く、市外では「関西医科大学附属病院」、「関西医科大学総合医療センター」が多い結果となりました。買物の具体的な施設は、市内では「イオンモール四條畷」、「アル・プラザ香里園」、「ビバモール寝屋川」が多く、市外では「イオンモール大日」、「ライフ門真店」が多い結果となりました。

12 Pをご覧ください。外出の頻度についての結果でございまして、全体の回答で「ほぼ毎日（週6～7日）」が20.0%と、週に複数日出かけられる方が7割強を占めております。中学校区別で見ますと、「週に複数日出かけられる方」が最も高いのは中木田校区で84.1%、次いで第八校区が80.9%でございました。

13 Pをご覧ください。移動手段についての結果でございまして、目的地までの移動手段は、「自転車」が36.6%と最も高く、次いで「鉄道（京阪）」が32.0%、「自動車（自分で運転）」31.3%、「路線バス（京阪バス）」17.4%、「自動車（家族等による送迎）」14.5%でございました。

14Pをご覧ください。移動手段別の外出頻度についての結果でございまして、全体の回答で「ほぼ毎日（週6～7日）」から「年数回程度」までを代入すると、「鉄道（京阪）」が71.8%と最も高く、次いで「徒歩のみ」が60.6%でございました。本市が運行している「ねやBUS」は9.2%、「乗合い事業」は37.4%でございました。

15Pをご覧ください。鉄道（京阪）での外出頻度についての結果でございまして、全体の回答で「年数回程度」が25.2%と最も高く、次いで「月数回程度」が20.7%でございました。また、「ほぼ毎日（週6～7日）」と「週4～5日程度」を足し合わせると17.3%でございました。中学校区別で見ますと、「ほぼ毎日（週6～7日）」と「週4～5日程度」を足し合わせた数値が最も高いのは第三校区で27.6%、次いで第一校区が23.3%でございました。

16Pをご覧ください。鉄道（JR）での外出頻度についての結果でございまして、全体の回答で「年数回程度」が25.7%と最も高く、次いで「月数回程度」が13.4%でございました。中学校区別で見ますと、「ほぼ毎日（週6～7日）」から「年数回程度」を足し合わせた数値が最も高いのは望が丘校区で80.2%で、他校区と比較し、極端に高い結果となりました。

17Pをご覧ください。路線バス（京阪バス）での外出頻度についての結果でございまして、全体の回答で「年数回程度」が19.4%と最も高く、次いで「月数回程度」が13.7%でございました。中学校区別で見ますと、「ほぼ毎日（週6～7日）」と「年数回程度」を足し合わせた数値が最も高いのは第十校区で73.1%、次いで第六校区が61.0%でございました。

18Pをご覧ください。路線バス（近鉄バス）での外出頻度についての結果でございまして、全体の回答で「年数回程度」が2.5%と最も高く、萱島駅から近鉄八尾駅までの1路線のみの運行のため、外出頻度は少ない結果となりました。

19Pをご覧ください。タクシーでの外出頻度についての結果でございまして、全体の回答で「年数回程度」が18.1%と最も高い結果となりました。中学校区別で見ますと、「年数回程度」が最も高いのは第六校区で21.5%、次いで第九校区が20.0%でございました。

20Pをご覧ください。自動車（自分で運転）での外出頻度についての結果でございまして、全体の回答で「ほぼ毎日（週6～7日）」が12.5%と最も高く、次いで「週2～3日程度」が10.5%でございました。また、「ほぼ毎日（週6～7日）」と「週4～5日程度」を足し合わせると19.0%でございました。中学校区別で見ますと、「ほぼ毎日（週6～7日）」と「週4～5日程度」を足し合わせた数値が最も高いのは第十校区で22.9%、次いで第二校区が22.7%でございました。

21 Pをご覧ください。自動車（家族等による送迎）での外出頻度についての結果でございまして、全体の回答で「月数回程度」が11.8%と最も高く、次いで「年数回程度」が11.4%でございました。中学校区別で見ますと、「月数回程度」が最も高いのは第七校区で16.5%、次いで第二校区が13.4%でございました。

22 Pをご覧ください。質問⑤公共交通についての結果を、順次、報告いたします。始めに、鉄道（京阪、J R）についての結果でございまして、「利用の有無」については、「主に京阪を利用している」が67.6%、「主にJ Rを利用している」が7.5%でございました。次に、「満足度」についての結果でございまして、「満足度が高い」のは、「運行本数」と「安全性」が高く、反対に、満足度が低いのは「駅までの交通手段」と「料金」でございました。

23 Pをご覧ください。次に、「今後の鉄道の利用意向」についての結果でございまして、全体の回答で、「現在も利用しており、将来も利用すると思う」が67.3%と最も高い結果となりました。中学校区別で見ますと、「現在も利用しており、将来も利用すると思う」が最も高いのは第三校区で80.0%、次いで第六校区が76.1%でございました。反対に、最も低いのは第八校区で51.5%でございました。

24 Pをご覧ください。路線バス（京阪バス、近鉄バス）についての結果でございまして、「利用の有無」については、「主に京阪バスを利用している」が41.9%、「主に近鉄バスを利用している」が0.6%でございました。次に、「満足度」についての結果でございまして、「満足度が高い」のは、「安全性」と「自宅からバス停までの距離」が高く、反対に、満足度が低いのは「運行本数」と「時刻表・路線図等の情報提供」でございました。

25 Pをご覧ください。次に、「利用しない理由」についての結果でございまして、「他の移動手段があるから」が67.3%と最も高く、次いで「バスの便数が少ないから」が13.4%でございました。

26 Pをご覧ください。次に、「今後の路線バスの利用意向」についての結果でございまして、全体の回答で、「現在も利用しており、将来も利用すると思う」が37.1%と最も高く、次いで「現在は利用していないが、将来は利用したいと思う」が17.2%でございました。中学校区別で見ますと、「現在も利用しており、将来も利用すると思う」が最も高いのは第十校区で65.7%、次いで第六校区が60.4%でございました。反対に、最も低いのは中木田校区で14.1%でございました。

27 Pをご覧ください。タクシーについての結果でございまして、「利用の有無」について

は、「利用している」が23.7%、「利用していない」が74.0%でございました。次に、「満足度」についての結果でございまして、「満足度が高い」のは、「利便性」と「目的地までの所要時間が短い」が高く、反対に、満足度が低いのは「料金」でございまして、他の選択肢と比較し、極端に高い結果となりました。

28Pをご覧ください。次に、「利用しない理由」についての結果でございまして、「他の移動手段があるから」が67.6%と最も高く、次いで「料金が安いから」が23.7%でございました。

29Pをご覧ください。次に、「今後のタクシーの利用意向」についての結果でございまして、全体の回答で、「現在は利用していないが、将来は利用したいと思う」が25.6%と最も高く、次いで「現在も利用しており、将来も利用すると思う」が21.0%でございました。中学校区別で見ますと、「現在は利用していないが、将来は利用したいと思う」が最も高いのは第八校区で29.1%、次いで第三校区が28.6%でございました。

30Pをご覧ください。質問⑥の新たな公共交通の導入についての結果でございまして、「AI オンデマンド交通」が25.8%と最も高く、次いで「自動運転」が23.3%、「グリーンスローモビリティ」20.1%でございました。次に、質問⑦の新型コロナウイルス感染症による影響についての結果でございまして、「利用状況の変化」については、「新型コロナウイルス感染症前と後の利用状況は変わらない」が68.2%と最も高く、次いで「新型コロナウイルス感染症後は、新型コロナウイルス感染症前の利用に戻した」が13.5%でございました。

31Pをご覧ください。利用状況の変化の理由につきましては、自由記述での回答のため、整理を行っているところでございます。同じく、質問⑧の公共交通に関する意見や要望等におきましても、整理を行っているところでございますので、次回、地域公共交通計画の素案をお示しする際に、報告いたします。以上で、説明を終わらせていただきます。

会 長 ありがとうございました。これより、内容について、御意見・御質問をいただければと思います。

委 員 寝屋川公園から市民会館を通過、寝屋川市駅へ行く、豊野浄水場回りの路線が10時以降減便になりましたね。前は1時間に1本あったのが、今平日は9時20分、10時20分が出ていますが、それ以降は2時間に1本。これは乗車数が少ないからという判断なのでしょうか？

会 長 アンケートには関係ないですが、コメントをいただけますか？今、運転手の方が減っているのは、皆さん共通認識はしていると思いますが、ご説明いただけることがあればお願いします。

委 員 大変ご迷惑をおかけしております。10月6日以降ダイヤ改正を行いまして、減便を中心とした部分でございますが、先程会長からもご指摘されたように、ご利用数はともかく、運転手が深刻な状況で、採用しても継続できなかつたり、その辺りが以前からひっ迫しているので、今の36号系統、豊野浄水場や太秦を経由する路線も含めて、全般的に減便をしたというところでございますので、ご理解いただければと思います。

会 長 少し前までは、とにかくバス・公共交通を使いましょうというようなフェーズでしたが、今は運転手の方々がおられない、そもそも走らせれないフェーズに入ってしまったというものが現実的なところかと認識しています。バスさんだけでなく、他の公共交通機関さんも含めて公共交通を維持していく、今はそういう時代になっているのだという認識です。

副会長 1,600～1,700票程集められているということで、20万人都市ですので、なんとか統計としては良いのかなと思います。このデータをいただいてから、直近の交通センサスのデータと合わせてみたのですが、駅アクセスとかのデータが近いですので、全体的には信頼ができるイメージです。例えば13ページの移動手段のところ、自転車は36.6%で、路線バスが17.4%となっていますが、あくまでも駅のアクセス分担ですが、香里園・寝屋川とも35%が自転車で、路線バスが15%のデータだと思うので、ほぼほぼ正しいアンケートかという感じがします。あと、駅へ行くバスが15%というのが非常に高い数値で、バスに依存している地域と言えるので、先程厳しい現状のお話しもありましたが、是非とも頑張ってください、市民の足を守るということで、最大限の尽力をお願いしたいです。それに関して、行政が支援をするということが、これから大事なのかと思います。

会 長 ありがとうございます。私も校区の位置等を見ていましたが、概ね地勢学的にも妥当な結果が出ているという印象です。

委 員 今年は夏場が暑かったので、今までは日中でも空いていたバスが、全席埋まるくらい混んでいたもので、バスでの移動が多くなっていると思います。先日 11 月 2 日の大雨の時に、色々なイベントが重なっていて、同志社香里の文化祭に行く人たちで第六校区なのですが、お客さんを積み残すぐらいすごい列ができていましたので、そういった点でも季節的なものもあると思います。

会 長 ありがとうございます。私の大学の寝屋川キャンパスでも学園祭がありまして、人の動きもかなり多かったと思います。雨で気の毒な感じもありましたが、そういう時に公共交通の役割が身に沁みますよね。

委 員 30 ページの新たな公共交通サービスということで、色々掲げてもらっているのですが、人材不足の面もありまして、最近府内の他の市町村さんでも地域主体の交通や、いわゆる共創というような病院施設の送迎を利用してみたいな話も出てきていますので、そういう事例も会議の場で、4 ブロック会議等ありますので、提供させていただきます。今後の検討の中にそういったものも視野に入れていただければと思います。

会 長 ありがとうございます。共創モデル事業はお隣の交野市さんでもチャレンジはされていますね。言い方が冷たい感じですが、共創というと、何か新しいものができて、急に便利になるということではなくて、既存のものといかに共通化をしていくか、そういう観点でやっていきます。ただそれぞれ交通系の手段なので、目的が違ったりします。それが上手く合わさるか微妙なところもあります。ただ今ご指摘いただいたように、選択肢としてはありますので、そういった観点からも今後展開していくと良いかと思います。

委 員 ちょうど 30 ページのお話しになったので、わからないことを質問します。グリーンスローモビリティというのは何ですか？

副会長 37 ページに書いているのが絵で、36 ページの下が文章で書いてありまして、概ね的確にまとまっているかという感じがします。時速 20 km 未満で公道を走ることができる電動車を活用

した小さな移動サービスで、万博でも多分導入されるものかなと思います。万博でしたら自動運転される予定という感じがしています。自動運転タクシーは日本ではまだハードルが高いのかなという気はします。

会 長 ありがとうございます。これは検討ですね。乗り換えてご自宅の前まで行くいわゆるラストワンマイルの部分でよく注目されているものですね。実際に色々市町村を見ていると、社会実験をしますが、車両をどこに置くか等ランニングの部分で課題が出ているようで、本格導入まで行っているところはないのかなと思います。

委 員 バスの本数の件で耳にしたのですが、急に本数が減ってものすごく利用しにくくなったという声があって、今説明されたのでわかりました。これは、もし運転手さんが増えてきた場合は、元に戻す計画はあるのでしょうか？

委 員 戻った時に復便という形となるかは、実際のところ今現在ではそこまで考えておりません。まずは、運転手の採用に向けた取り組みを重視したうえで、最終的にどの便かはご利用状況を見たうえで判断させていただくというところでございます。

会 長 増やすということは難しいですね。大型二種を取っていないといけないとか、トレーニングがあったり、定着しないといけないということがあるのではないかと思います。

委 員 色んなところに声をかけたり、説明会をしたり、例えば企業の方がリタイア後の、第二ステージとして紹介したり、色んな面で採用に向けて頑張っている最中ですが、中々数字に上がっていないところが現状です。

会 長 ありがとうございます。他にございませんか。ないようでございますので、質疑を打ち切ります。最後に、案件(3)、「その他」でございますが、最後に、事務局何かありますか。

事務局 次回の協議会の日程につきまして、報告させていただきます。次回の協議会の日程につきましては、12月26日を予定しております。案件につきましては、地域公共交通計画の素案

を作成するとともに、パブリック・コメント手続の実施について報告させていただきます。
以上でございます。

会 長 ただいま、事務局から説明がありましたが、次回の日程につきましては、12月26日を予定しております。正式な開催案内につきましては、追って、通知させていただきますので、よろしくお願いいたします。案件は、以上でございます。

委 員 質問がありますが、前回身体障害者が、ねやBUSの乗車の際のステップをお願いしていました。もう一点、乗に残し、ガイドさんが乗れない。10人定員だからガイドさんがこぼれることをご質問させていただいたのですが、その結果は今どうなっているのでしょうか？

事務局 ねやBUSのステップ設置の件ですが、ステップと合わせまして手すりをもう一つ増設ということを考えています。今も設置に向けて進めておりますので、今しばらくお待ちいただきたいと思います。乗に残しの件につきましても、今後予約制を取ったり、色々検討しているところがございますので、すぐにどうするということとはできないのですが、そこも併せて検討しているところがございますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

委 員 いつ頃になりますか？解決の目途は？

事務局 ステップの設置は、年内の設置に向けて取り組んでおりますが、若干年内を過ぎるかもしれません。乗に残しの件につきましては、すぐにいつまでにできるというのはお答えしかねるところではございますが、今後ICの導入や予約制を検討しているところがございますので、ご理解をお願いいたします。

会 長 決して無視はしておらず、前向きに検討を進められているという理解ですね。

それでは、案件は以上でございます。本日、委員の皆さまよりいただいた意見について、事務局で整理をお願いいたします。慎重審議いただき、誠にありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。

事務局 熊谷会長、議事進行、誠にありがとうございました。以上をもちまして、寝屋川市地域公共交通協議会（第3回）を閉会いたします。本日いただきましたご意見を踏まえ、地域公共交通計画を策定してまいりますので、今後とも、ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。本日は、誠にありがとうございました。

以上